

---

In my Life.

あるふぁ@空鍋

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

In my Life .

### 【Nコード】

N6269T

### 【作者名】

あるふぁ@空鍋

### 【あらすじ】

人類が、生命をかけて、何を尊ぶか？

(前書き)

生きるために、死ぬということ。

革命の中に生きる。

チエ・ゲバラやレーニンのように。

クロムウェルやフランス革命の闘士のように。

銃弾を潜り抜け、貧しさを糧に、命を最高の美德とし。

敵がすぐそこまで迫っている！

我々をチリも残さず消し去ろうとする敵が。

音楽の調べは心を洗う。

汚れた時間は清められる。

今まで受けた辱めは、すべてこの一点において、神に許される。

また新たな一日を戦い抜くために。

敵はすぐそこまで来ている、明日、明後日、半時後。

生き残るために戦うのか？

自由のために戦うのか？

死ぬために戦うのか？

生きるための意味は、死ぬための哲学だと、ある哲学者は言う。

現存在は、現象であり、真ではないと。

しかし、一つだけ確かなことがある。それは生きていることだ。

若者の心に届く言葉で、気持ちで、感情で。

敵の足音が聞こえる。

隊列を組み、すべてを圧倒する気概に満ちている。

銃声が、悲鳴が、怒りが、苦しみが、悲しみが、喜びが渦巻く。

そこは無法の戦場。戦場に法はない。

しかし、生命の理は存在する。生きるか死ぬか。相手がたとえ人間でないとしても。

砕け散るコンクリート。

金属の溶ける匂い。

プラスチックが焼ける温度。

風が熱い。

アドレナリンが一斉に分泌される。

バリケードを築け！

敵を一匹たりとも通すな！

ここは我々の土地だ。

世界を分断するな。物語を捨て去るな！歴史の調べを絶ちすてるな！！

敵はバリケードに向かって進んでくる。

バリケードはスタングレネードの光で浮かび上がる。

我々の城！神の城！

朝もやの中、浮かび上がる城はヴァルハラ光景を映し出す。

ヴォータンは雷を振り下ろす！！

グレネードが炸裂。バリケードからは悲鳴が。

”フラントツがやられたぞ！”

”ドールもやられた”

”トム、トム、腕が！”

仲間の返り血を浴びて、我々の旗は赤く染まる。

白い清潔なシート。我々の旗が我々の神聖な色に染まる。  
さあ、鬨の声をあげよう！

ファイアー！ファイエル！グローシュ！

敵はまだ少ない。すべての敵に、我々の力を見せつけるのだ。

我々はもはや流浪の民。この地以外に住む場所はない。

我々の山河は、街は、犯され、残るもこの街区のみだ！

生きて、闘いぬくのだ！最後の一人まで。

そして、誰にも語り継がれることのない伝説になるのだ。

鳴りやまぬ銃声！！

嵐のように時代がやってくるのが分かる。

新しい時代が！我らの時代が！

市民の、立ち上がる！武器をとって！

すべての兵器に、邪悪な支配に！立ち向かう術、勇気を！！

バリケードをよじ登り、後に続くすべての戦士たち。

鉄の支配はおわった！我々は理性の時代を生きるのだ！

世界は変わる！我々の死を以て、旧時代は終わりを迎えるのだ！！

カーテンコール！それは歴史書のような！！

荘厳な響きが聞こえる！砲声が雨音。銃声はふりそそぐ宇宙線！

バリケードの頂上で、私は眼前の廃墟と化した街を眺める。

世界はこんなにも醜い！しかし我々は、このバリケードの戦士たちは、尊い！

清い戦士たちよ！智の鎧をまとい、神の理性の武器を持ち、勇敢に行進せよ！

我々はみた！新しい世界の夜明けを！！

銃弾に倒れる、その時まで！！！！

『紀元前2000年頃、この星では原始的な二足歩行動物が、英雄的行為に生命をかけるという自殺的行為を行っていました。』

超長距離星間連絡船の中で、古い歴史教育番組を見ている。

我々は今、戦地へ向かっている。

人類は21世紀終盤に星間文明と出会い、その飽くなき野心で銀河へと漕ぎ出して行った。

地球人類は他のすべての星間文明とは異質の進化を遂げ、その芸術文化、戦闘能力はどの星間文明よりも進んでいた。

そして俺は、その戦闘能力を頼って生きている。

地球人のような正義を持って行動する文明は存在しない。

今までの我々の血ぬられた歴史と比べれば、比較にもならないのだ。

我々は、傭兵として銀河中の戦闘地域で戦う。

それが俺らの正義であり、生き様だ。

明日も、俺たちを必要とする、理想を唱える人々のために、俺たちは闘う。

(後書き)

少し過激に描き過ぎたかもしれません。  
音楽をもとに、書き連ねました。

感想など頂ければ、嬉しいです。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6269t/>

---

In my Life.

2011年10月9日02時58分発行